

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こもれび通所支援事業所(児童発達支援)				公表日	2025年5月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	年齢別にプログラムを行い場所の有効利用している。	ケガや事故が起きないよう職員を配置している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	専門の知識を活かした配置と個別、小集団などで対応をしています。	理学療法士、保育士、児童指導員、などの資格者を配置。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	段差等も多いため滑り止めテープ、目印、声かけにて衝突回避に務めている。	職員配置、目印追加等で環境調整していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	衛生、感染対策マニュアルに沿って毎日掃除、定期的消毒を行っています。	窓が多く配置され、明るく、風通しの良い空間と又、広い庭園や遊具と子どもたちに適した空間となっている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個別の部屋をパテーションなどで仕切り使用できるようにしている	個別、室内、庭など職員が対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	職員間で情報を共有しています。会議等で目標設定の見直しや、よりよい支援を考えています。	職員会議やミーティングなどで振り返りや対応改善している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	個別支援計画書に盛り込んだり、業務改善につなげたり、口頭での質問等も即日に対応できるよう務めています。	保護者の意見をプログラムに取り入れたり、モニタリングで対応できるように務めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日のミーティングで一人一人業務の意見交換をしている	意見の出しやすい仕組みづくりで職員ミーティングでの意見交換を充実させて業務の改善に努めています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	各相談事業所の相談員や教員、関係事業所等から評価等を伺っています。	現在は、外部評価検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	他分野の研修を行っている。	オンライン研修も含め月に1回以上おこなっている
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	支援プログラムを作成し、ホームページに掲載しています。	保護者の皆様に周知していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	年度替わりや環境の変化、お子様の成長・発達に応じたアセスメントを行い、本人や保護者様のニーズを把握し、支援計画を作成しています。	変更時や年に1回以上見直しを行っています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	毎日のミーティングで事例検討、毎月の個別支援会議をおこなっている。	職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会も増やしていきたいと考えています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	児童発達支援計画を基に個別療育、集団療育のプログラムを立案し、個々に合わせた支援を行っています。	保護者、教員、相談員等と連携をはかりながら支援が途切れないよう継続的な対応していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	標準化させたアセスメントから当事業所のプログラム等に適したアセスメントを使用する等により確認している。	職員全員が「何のために記録が必要なのか」「どんな記録方法が適切なのか」を考えて対応できるスキルと身につけていくことが課題。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	相談員からのサービス利用計画を基に本人や保護者様の意志、要望に沿った、長期目標、短期目標を設定し、要望実現のための具体的課題や支援内容、支援期間や優先順位を、分かりやすい文章で表記しています。	5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）も含めた支援内容を実施。相談員とも情報交換しながらガイドラインに沿い、発達支援（本人支援及び移行支援）、家族支援、地域支援をバランス良く、具体的な支援内容を分かりやすく設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	専門スタッフはもちろんの事、スタッフ以外に、関係者とも共通理解したうえでのプログラム立案をおこなっています。	保護者や本人はもちろん、相談員、学校関係者とも共通目的のもと、プログラムの立案をしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	本人、保護者、スタッフの要望なども聞いて対応し、又本人が飽きないよう変化をつけて対応しています。	成功体験を積み重ねつつ、楽しい苦手なものも併せて固定化しないよう工夫しています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	保護者や本人と相談の基に集団プログラムや個別プログラムを特性や発達状況を考慮して組み合わせています。	職員は特性の確認や療育方法の確認、本人とは毎日見通し等を立てて意識できるようにさせています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日、短時間職員も踏まえて会議しているため前回の療育の引継ぎと併せて対応できている。	当日開始前に状況が変化することがあるため、そこまで見通し立てて対応していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	常に子供たちに寄り添いながら事業所に限らず学校や家庭での起きたことも踏まえての気付いた点があれば報告共有している。	毎日、短時間勤務職員も踏まえて会議しているため前回の療育の引継ぎと併せて対応している。サービス開始前に状況が変化することがあるため、そこまで見通し立てて対応していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	正しい記録がとれるように一人一人の状態を観察する事を心がけている。	記録内容が曖昧な内容にならないよう本人の目標、プログラムのねらい、療育に特化した記録を心がけている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	毎回参加し、利用児の近況などを確認しています。	見直しや継続性の必要性などスタッフとも細かく情報交換しています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	担当者会議には、主に児童発達支援管理責任者が出席しています。	現状どおり対応していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	必要に応じて、保育所や幼稚園、地域の専門機関や医療機関との情報共有や相談を行い、適切な支援が行えるように努めています。	相談員や行政職員などと情報共有しながら連携を図っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	先生方や保護者、相談員と連携して情報共有や相互理解を図っている。	事前に先生方と関係者会議などで情報共有している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	先生方や保護者、相談員と連携して情報共有や相互理解を図っている。	事前に先生方と関係者会議などで情報共有している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	保護者様を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解を図っています。	発達検査での結果内容を共有し、療育内容の参考にしている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	小学校や中学校などのイベント参加や公園、児童館や体育館などで交流を図っている。	インターシップや地域中学生の職場体験を通して交流を図っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時に保護者との連絡帳、電話、SNSなどで状況や課題についてお伝えしている。	現状どおり対応していきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	ペアレント・トレーニングは、行っていませんが、児童発達責任者はじめ対応力向上に努めている。	保護者や先生対応等などの研修を実施している。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に規定を明確に提示し、利用者負担等についても丁寧な説明を行っています。	毎月事前に自己負担分の確認について紙面に同意を求めています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。	今後も本人や保護者様に寄り添った支援をしていきたいと考えています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	利用者負担は単位や加算などがわかりにくいいため周知方法への工夫が必要です。	発達支援、家族支援、地域支援を取り入れ、分かりやすく明確に記載した児童発達支援計画を説明し、同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	相談にはその都度対応しています。必要に応じて日時を改め時間を設け、助言と支援を行っています。	保護者様の悩み等を改善できるようスタッフの対応力や信頼を増やしていきます。

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	父母の会の活動はおこなっていませんが、保護者同士の紹介等を行い連携を促しています。	事業所行事の参加時に保護者会の開催を予定しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	相談にはその都度対応しています。必要に応じて日時を改め時間を設け、助言と支援を行っています。	保護者様の悩み等を改善できるようスタッフの対応力や信頼を増やしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	行事予定は紙面で対応し、活動内容や連絡体制等はホームページやブログ、SNS等で対応しています。	ホームページの整備や保護者様に有益な情報や連絡体制等をSNS等でも対応している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報などはファイリングし、目隠しなどで保管しています。	事務所内の掲示物等個人情報がもれないよう整備していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	よりわかりやすく親切な対応を個々に考え工夫しています。	現状どおり対応していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	地域の美化作業や児童館の利用など少しずつ交流を増やしている。	地域行事に参加したり、事業所の行事に招待を予定している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的な会議で緊急時対応、防犯対応、感染症対策の再確認や訓練を実施している。	事業所内にマニュアルを設置し、保護者様にはいつでもお読み頂けるようにしています。定期的に訓練を行い、最新の情報を提供していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年2回以上、訓練を実施しています。想定災害に応じた避難訓練を実施しています。	災害訓練の想定を変更することで職員や児童が対応の方法が学べる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時に既往歴等、お子様の状況を確認しています。服薬やその日の体調等は、利用時に毎回確認するようにしています。	保護者の方からも定期的に確認しているし、相談員との情報共有、アセスメントシート等から健康管理、状況把握を確認している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	契約時にアレルギーの有無やその日の体調等は、利用時に毎回親御さんに確認するようにしています。	相談員や保護者の方との情報共有、アセスメントシート等から健康管理、状況把握を確認している。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画の基、毎月、安全管理についての事例検討が行われている。	他施設での事例の対策方法を参考に行ったり、研修等で対応中。危険場所等は、その都度措置を講じ、十分な支援がおこなわれるよう配慮している。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全計画の取組内容は周知していない。	今後、安全管理対策など、ホームページにて公開又は文書配布にて対応検討中。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット事例で全職員の注意喚起をかねている。	毎日のミーティングで全職員共有できるよう定期的に確認していきます。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待マニュアル等で復習と研修等の参加で対応している。	外部研修を毎年数回受講し職員を交代して受講させ、全職員で共通理解図っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束マニュアルで事業所に適した内容に更新している。	身体拘束委員会設置し研修等の情報を周知徹底している。	